

# そよ風

第5号

今治市立立花中学校

## 恋をする自由、しない自由

8月、厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所による全国家庭動向調査によると、「同性婚を法律で認めるべきだ」への賛成が75.6%に達したことがニュースになりました。皆さんもLGBTQ+という言葉聞いたことがあると思いますが、世の中には、様々な性的志向・性自認に応じて、多様な恋愛の形があります。

LGBTQ+とは、性的志向や性自認についての在り方をまとめた考え方です。

- L… レズビアン(女性の同性愛者)
- G… ゲイ(男性の同性愛者)
- B… バイセクシャル(両性愛者)
- T… トランスジェンダー(心と体の性別が一致しない人)
- Q… クエスチョニング(自分のセクシャリティ(性的志向や性自認)が分からない人 考え中の人)
- +… パンセクシャル(誰かを好きになるにあたり、相手のセクシャリティを条件としない人)  
アセクシャル(誰にも性的魅力を感じない人、感じる事がとても少ない人)  
Xジェンダー(性自認を女性か男性のどちらかとは認識していない人) など

性的志向に関するもの

性自認に関するもの

第2回人権・同和教育主任研修会資料より引用

2023年現在、同性婚は34の国と地域で認められています。その中の一国であるニュージーランドでは、2013年に同性婚を認める法律が採択されました。その際のスピーチが注目され、日本語字幕が付けられた動画の再生回数は1000万回を超えています。一部をご紹介します。

私たちはこの法案を通して、愛し合う2人の愛を結婚というかたちで認める。ただそれだけです…(中略)…明日も世界はいつものように回り続けます。だから、大騒ぎするのはやめましょう。この法案は関係がある人には素晴らしいものですが、関係ない人にはただ、今までどおりの人生が続くだけです。

恋愛の相手は、「必ず異性であるべき」でしょうか。そして、誰かと恋愛して結婚することが「正しく、求められる姿」でしょうか。恋愛には様々な形があります。恋愛をしない人もいます。目の前の人を個人として尊重できれば、それぞれが持っている考え方や生き方も尊重できると思います。皆が生きやすい世の中をつくりたいですね。